

全体配置計画

○浅間山に学ぶ
浅間山と向き合うような校舎配置となっており、校舎内外のいろいろ

な場所から眺望できる計画です。

○特性のある校舎配置

各棟は渡り廊下や連絡通路でつながり、回遊性のある構成となっています。

校舎中央部分には、学校のシンボリックな存在になる中庭をつくり、体育館やグラウンドとは違った生徒の自由な活動スペースとして活用する計画です。

雨水排水及び砂塵対策

現在の中学校は、雷雨や台風などの強い雨が降った場合に、雨水排水の一部がグラウンド南側の道路側溝へ流れ出し、下流部の皆さんに多大な迷惑をお掛けしていました。

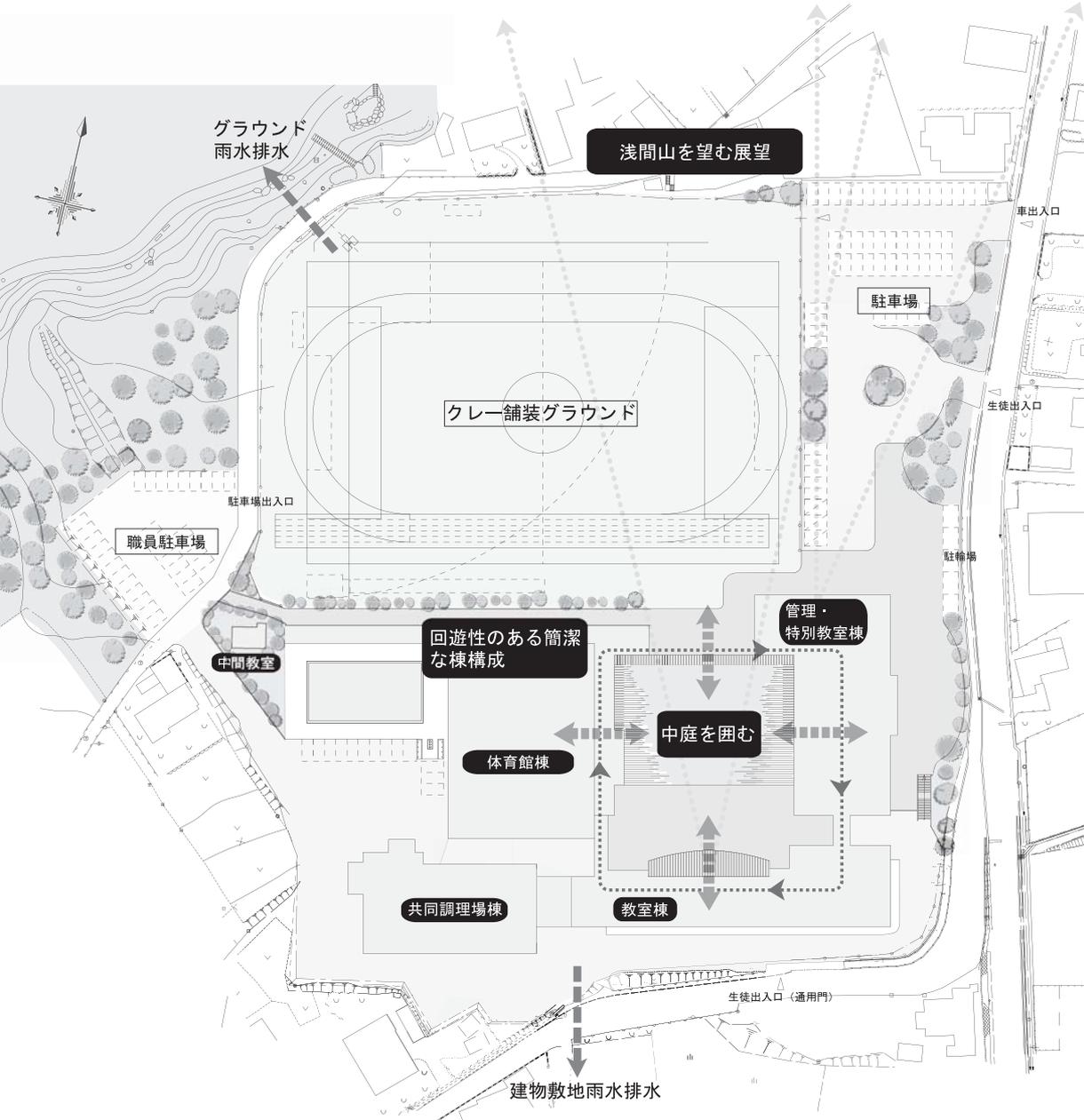
このため、今回の建替計画では、南側の道路側溝への放流は行わないこととしました。具体的には、新設グラウンドの雨水は側溝により北西側に集め、久保沢川に放流する計画です。

南側に排水する以外に方法のない建物敷地は、外構工事において、雨水を地下浸透させる透水性のアスファルト舗装や浸透側溝を設けることにより、通常の雨では排水が敷地外に流れ出ない計画としています。

なお、大量の雨が降った場合の対策としては、大規模な開発を行う場合の設計基準である降雨強度102mmの時間雨量を想定し、敷地外へ流れ出す毎秒0.2㎡の雨水処理ができる排水路を新たに設け、井戸沢へ放流する計画です。

また、新設グラウンドの砂塵対策としては、砂埃のたちにくい無機系の土壌改良剤を使用したクレー舗装とすることにより、近隣住宅への迷惑を最小限に留める計画としています。

建物全体配置図



■実施設計建物計画面積(敷地面積 27,893.05㎡)

	1階	2階	3階	4階	棟合計面積
管理・特別校舎棟		1,201.11㎡	1,082.80㎡		2,283.91㎡
教室棟	975.55㎡	975.19㎡	975.63㎡	975.63㎡	3,902.00㎡
渡り廊下(管理棟側)		28.47㎡	28.47㎡		56.94㎡
渡り廊下(体育館側)		44.27㎡			44.27㎡
体育館	803.03㎡	1,595.56㎡	202.22㎡		2,600.81㎡
共同調理場	947.08㎡	198.63㎡			1,145.71㎡
中間教室		35.05㎡			35.05㎡
部室棟		277.92㎡			277.92㎡
連絡廊下棟		77.98㎡			77.98㎡
合計面積	2,725.66㎡	4,434.18㎡	2,289.12㎡	975.63㎡	10,424.59㎡
総面積					10,424.59㎡

建物計画及び建設工事費

町では、当初建替計画の目標値として、建物全体面積9,960㎡、全体工事費26億円を設定していましたが、これは、建替工事完了後の最終

的な目標数値として決定したものです。

近隣での中学校建替事例や県内の共同調理場整備事例から工事費を算定しますと、御代田中学校の建替えには28億円ほど必要としましたが、大規模な施設整備計画検討段階における工事費の増加を勘案し、あえて2億円を減じた目標金額としました。しかし、次の主な理由から、建物全体面積と全体工事費が増大することになりました。

①建設地の地盤調査を行った結果、軟弱地盤であることが判明し、建物を安定させるための杭工事が必要となったこと。

②体育館棟の規模について、学校現場や社会体育関係者と検討協議を重ねた結果、体育の授業や運動部活動、社会体育での利用に当たり、公式バスケットコートが2面取れるアリーナ面積を確保したこと。

また、ギャラリーとしても利用可能なトレーニングスペースを計画するなど、より良い施設環境を整えたことにより建物面積が増えたこと。

③共同調理場についても、調理現場の意見やPTAの皆さまの要望を取り入れ、より安全な作業動線を確認するとともに、食育授業などに利用する研修室や米飯加工室の増設により建物面積が増えたこと。これら体育館棟や共同調理場棟の

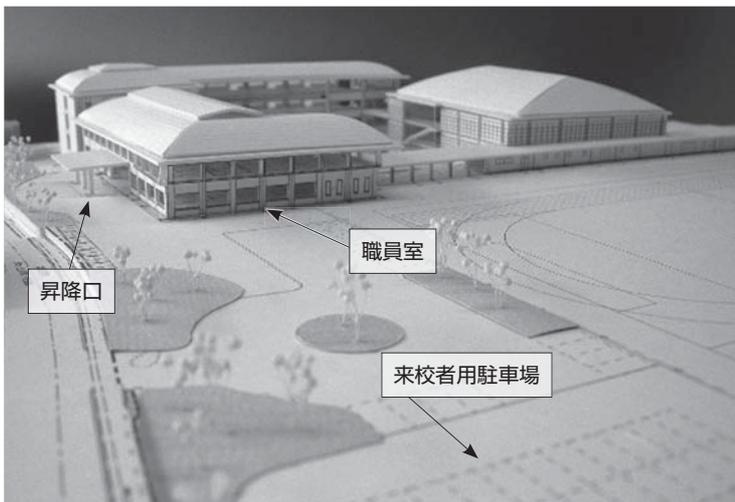
面積が増えたことを受けて、建物全体計画を精査する中で建設費の低減を図ってきましたが、建物全体面積は当初計画から465㎡ほど増え、約10、425㎡になりました。この面積増加分と杭工事を併せまして、約4億円の工事費が増えていきます。

更にこれに加えて、目標工事費を設定した平成18年度以降における原油高が起因し、1割近く建設資材価格が高騰するという異常な事態が重なりまして、工事費が当初の目標額から6億円ほど増え、約32億円となりました。

しかし、中学校建設工事に要する費用の財源は、「公立学校施設整備負担金事業」、「安全・安心な学校づくり交付金事業」及び「まちづくり交付金事業」による補助制度を活用するとともに、有利な起債の借入れや、10億6千万円ほど積み立てた中学校建替基金の繰り入れにより、十分に確保ができる見込みです。

※工事費は全て消費税抜きの額で記載しています。

北側から見た完成予想模型写真



広い駐車スペースと
登下校等の安全管理

建替え計画では、通学生徒と車両の出入口を分離した55台分の来校者用駐車場を計画しています。これにより、生徒送迎時の路上駐車による混雑が解消され、校門前道路の安全走行が可能となります。

また、生徒の登下校など校門周辺の出入りや、グラウンドでの屋外活動が見渡せる場所に職員室を配置し、不審者の侵入など万一の事態に備えることができる計画としています。